

開催概要

(1) 日時: 平成29年2月2日(木) 10時00分～14時30分

(2) 場所: 対馬市役所

(3) 主な参加者:

【自治体関係者等】比田勝対馬市長、白濱佐賀市農業振興課係長 等

【ICT街づくり推進会議】住友商事 岡相談役(座長)、産業戦略研究所 村上代表、
東京海上日動火災保険 牧野次長(石原構成員代理)

【総務省】宮本九州総合通信局長 高地情報通信国際戦略局参事官等

(計約30名)

※ 対馬市及び佐賀市は平成28年度当初予算による採択自治体 (センサーを活用した鳥獣被害対策)

※ 地域懇談会終了後、市のジビエ加工施設を見学



結果概要及び主な意見

対馬市と佐賀市より、センサーを活用した鳥獣被害対策について、取組概要の説明後、デモンストレーションや意見交換を実施。

<主な意見>

- 獣害から獣財(ジビエ活用)へという単なる鳥獣被害の軽減から地域経済をどう回すかという大きな取り組みとなっている点が評価できる。(村上構成員)
- ジビエのマーケットを作るためには安定供給が大切である。そのためには、対馬市単独で行うのではなく、佐賀市などと連携した体制を構築すべきである。(岡座長)
- ジビエのマーケットを作るためには、まず地元から理解を進めていく必要がある。対馬市では、学校給食やソーセージ等加工品でジビエを活用しており、また猟友会メンバーが地元の中学校に行き授業を行うなど普及啓発活動も積極的に行っている。(比田勝市長)
- 今後はドローンなどを活用して現地調査などしていきたい。(地元猟友会)

概要

(1)日時:平成29年2月1日(水) 16時30分~17時

(2)場所:福岡市役所

(3)主な参加者:

【自治体関係者等】高島福岡市長 等

【ICT街づくり推進会議】住友商事 岡相談役(座長)、産業戦略研究所 村上代表、
東京海上日動火災保険(株) 牧野次長(石原構成員代理)

【総務省】宮本九州総合通信局長 高地情報通信国際戦略局参事官等



高島市長の主な発言

- ▶ 福岡市で取組んでいる以下の事業について説明。
 - ・地域包括ケア情報プラットフォーム構築事業(行政の保有する医療や介護、予防(健診)等に係るビッグデータを活用し、地域における医療・介護ニーズの見える化や医療・看護・介護における多主体間の連携を実現)
 - ・IoT実証実験のためのインフラ整備
 - ・FUKUOKA Smart EAST(九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり)
- ▶ 福岡市は政令市のため、行政と現場が一体となった意思決定・実行が早い。
- ▶ 箱崎キャンパス跡地のまちづくりは一度規制を全て取り払うといった発想で思い切って進める。
- ▶ 持続可能性を担保するために、民間やスタートアップ巻き込み彼らの知恵を活用することが大切。
- ▶ 国の指針や報告書などに自治体の意見を反映することが重要。

その他

福岡市訪問前に九州大学伊都キャンパスを訪問し、キャンパス移転関係者やスマートモビリティ推進コンソーシアム(九州大学、福岡市役所、NTTドコモ、DeNAで構成)と意見交換を行うとともに、自動運転バスの試乗を行った。



日程	場所	事業概要
4月12日(水)～ 14日(金)	沖縄県久米島町 沖縄県南大東村	<ul style="list-style-type: none">➤ 沖縄県久米島町 クラウドを活用した農作物の地産地消 (平成24年度補正予算「ICT街づくり推進事業」において採択)➤ 沖縄県南大東村 クラウドを活用した農作物の地産地消 (平成26年度補正予算「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」において採択)
5月30日(火)	福島県会津若松市	マイナンバーカードを活用した母子健康情報提供 (平成28年度当初予算「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」において採択)
5月31日(水)	岩手県葛巻町	マイナンバーカードを活用した高齢者の健康見守り (平成28年度当初予算「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」において採択)